

3月定例議会の審議結果

3月定例議会を3月3日から17日まで開きました。条例の改正や補正予算などについて慎重に審議しました。ここでは主なものを紹介します。(各議案の審議結果は12ページに掲載しています。)

発議

町長の問責決議案可決

議員から「町長の問責決議案」の動議が提出され、採決の結果、賛成多数で可決しました。

町長は、「誠心誠意、全身全霊を傾け、命をかけて説明責任を果たす」と明言してきた。しかし、説明が足りず、議会を中断しなければならぬ状況が多々あり、委員会審議を特別に何度も開催したり、発注すべき工事が遅れたり、また、計上すべき予算を議会開会直前に差し替えを行わなければならぬなどがあった。議会自体を混乱させるだけではなく、職員にも大きな負担をかけている。最高責任者である町長の責任を問わざるを得ない。

2名の議員から発議が提出され可決されました。(海田町議会ホームページの「意見書・決議」からもご覧になれます。)



条例制定・改正

防災対策基本条例を制定

平成30年7月の豪雨災害などの教訓や経験を踏まえ、防災に対する基本理念を定めました。町民、自主防災組織、自治会、事業者、町の役割を明確にし、相互に連携して防災対策を実施することにより、災害に強いまちづくりを推進するために条例を制定しました。



被害が少なくなるように

契約

海田総合公園多目的広場

県発注の瀬野川災害復旧に係る堆積土砂撤去工事の土砂で、多目的広場の新造成工事を予定でしたが、土砂撤去工事が遅れ、土砂の搬入ができず令和元年度中に完了する見込みがなくなったことから、工事協定金額を1千8百万円減額しました。残りの工事は、令和2年度に行います。



町営住宅の連帯保証人を緩和します

町営住宅連帯保証人条件の緩和

入居時に必要な連帯保証人の人数を緩和し、家賃滞納時の連帯保証人の負担額の上限額を新たに定めました。

改正内容

- 連帯保証人の人数 2名以上から1名以上に
- 連帯保証人の負担額 家賃滞納時の連帯保証額の上限を最大12か月に

人事案件

各委員の推薦・選任

任期満了に伴い人権擁護委員に植野敏彦さんを推薦、固定資産評価審査委員会委員に梶真澄さんを選任することに同意しました。任期はそれぞれ、3年です。

補正予算

一般会計総額 2億4996万円

予算委員会を3月3日に開きました。審査の結果、すべての議案が全会一致で可決しました。ここでは主なものを紹介します。

新庁舎の建設

7710万円減額

新庁舎建設予定地の土壌から国の基準を超えるヒ素が検出されたため、解体・建設工事を延期することになりました。今後は汚染土壌の対処方法を決定し、全体スケジュールを見直します。

通信ネットワークの整備

1億8000万円

町立の全小中学校に高速大容量の通信ネットワークを整備します。併せて文部科学省の「GIGAスクール構想」実現に向けて、令和2年度より4年間で全児童生徒に一人1台タブレット端末を整備していきます。

中学校に空調設備

717万円

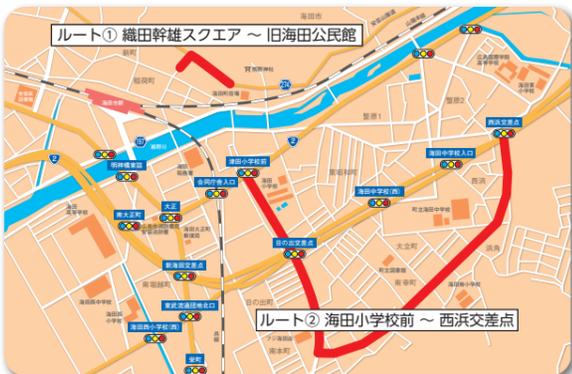
海田中学校適応指導教室と、海田中学校サポータールームの空調設備を新たに設置します。

オリンピック聖火リレー

600万円

東京2020オリンピックの聖火リレーが海田町でも実施されることに伴い、イベントを行います。

※新型コロナウイルス感染症の影響により、延期されます。



聖火リレーコースでした 残念でした...

報告

海田公民館整備特別委員会

委員長から、これまでの調査の報告があり、令和2年3月31日をもってこの特別委員会を廃止することを、全会一致で可決しました。

報告内容

平成29年4月からこれまでに合計11回開催し、海田公民館の整備について質疑や意見の提言など、積極的に進めてきた。

その公民館が令和2年4月に開館したことから、調査事項である「海田公民館整備に関する諸問題の調査・研究」は終了し、同時に特別委員会の役割も終了するものと考えます。

委員会の調査報告書は、海田町議会ホームページの「議会のしくみ」↓「各委員会の構成」「特別委員会の構成」からご覧いただけます。



開庁が遅れる？